

学校だより

東泉丘

令和5年(2023年)1月号
全児童数 590人(12/9現在)
豊中市立 東泉丘 小学校
校長 河上 洋介

3学期に向けて

保護者の皆様のご理解、ご協力のおかげをもちまして、2学期の教育活動を無事に終えることができました。授業参観や運動会、わかたけ音楽会といった行事に参加いただくにあたっては、感染防止対策のため様々なお不便をおかけしたことと思います。改めてお礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。

さて、本校では、今年度よりめざす子ども像を「伝え合い 認め合い 高め合い 3つの合い(愛)」としています。1学期には、「伝え合い」について、「気持ちのよいあいさつ」「思いやりのある言葉」を大切にしてほしいと子どもたちに話しました。2学期の始業式では、2学期は「認め合い」について特に考えてほしいと伝えました。そして、友達のいいところやがんばっているところを「見つける」ことや、友達のことをたくさん「知る」ことが、「認め合い」につながっていくと話しました。子どもたちが、友達のいいところをたくさん見つけてくれていたらうれしいです。

3学期はまとめの学期であるとともに、来年度への準備の学期です。「わくわく」や「どきどき」を感じながら進級、進学するための準備を、しっかりとしてほしいと思っています。

保護者の皆様には、本校の目指す子ども像を実現するために、お子様の食事や睡眠といった基本的な生活習慣に配慮いただくこと、お子様を認め励ましていただくことの2点について、引き続きご配慮くださいますようお願いいたします。規則正しい生活は、感染防止の基本であるとともに、学習の土台にもなります。毎朝の検温、マスクやハンカチといった持ち物の準備等についてもよろしくお願いいたします。冬休み中は生活習慣が乱れがちになります。ご家庭でお子様と時間の使い方について話し合い、宿題をする時間や本を読む時間を決める等して、お子様が規則正しい生活を送れるようご配慮ください。

給食中の会話について

報道でも紹介されているとおり、給食中の会話について11月29日に文部科学省から出された通知を受け、豊中市でも給食中に子どもたちが会話をしてもよいこととなりました。本校でも、3学期から、教室の対角線にあたる窓を少しずつ開けて、室温を保てるように換気をしながら、となりの子と会話をしてもよいこととします。机を向かい合わせにした場合に必要とされる間隔がとれないため、机の並べ方はこれまで通り全員前向きです。また、これまで、おかわりをする場合には教職員がよそっていましたが、マスクをしてよそうことや、トングが自分の食器に触れないよう注意すること等を指導したうえで、子どもたちが自分でよそってもよいこととします。

コミュニティスクールについて

コミュニティスクールとは、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくために、学校運営協議会が設置された学校のことを言います。学校運営協議会で話し合われたことを、「学校地域連携ステーション（わかたけサポート隊）」や「子どもの安全見守り隊」といったボランティアによる学校支援の取組みにつなげていくものです。豊中市では、令和6年度までに全ての小中学校に学校運営協議会が設置される予定となっており、本校は来年度に設置されます。これまでも、学校では、PTA会長、校区福祉委員会会長、公民分館長といった方々による学校評議員会を開催し、評議員の方からいただいた意見を学校運営に生かしてきました。学校運営協議会は、これまでの学校評議員会に替わるものとなります。学校評議員会と同じように学校運営にかかる意見を述べることに加えて、学校運営の基本的な方針を承認したり、教職員の採用に関して教育委員会に意見を述べたりすることができます。採用に関する意見とは、例えば、外国籍の子どもが多い学校であれば、外国語が得意な先生を配置してほしい、といった意見が考えられます。学校運営協議会にかかる開催日等のお知らせは、来年度の学校だよりに掲載します。

東泉丘タイピング大会について



12月13日（火）に、タイピング大会の決勝戦がありました。優勝した子の得点は5206点でした。株式会社 Preferred Networks が作成したプレイグラムタイピングというサービスを使っています。画面の「うでだめし」というところから始めることができるので、一度チャレンジしてみてください。

6年2組研究授業について

12月14日（水）の5時間目に6年2組で校内研究授業を行いました。理科の授業で、手回し発電機を使った実験を通して、電気の性質について学ぶ内容でした。今回の授業は「仮説実験授業」という授業方法にのっとって計画されていました。この授業方法は、大変古くからある方法です。子どもたちが実験の結果を予想して話し合ったり、実験をして確かめたりするうち、電気の性質が理解できるようになっています。そのときには解決しない疑問が、後で出てくる実験で解決することもあります。子どもたちは、例えば、携帯型ゲーム機で遊んでいるときの経験、自転車のライトが点灯するときの様子や、3年生の時に、乾電池と導線だけで回路を作ると熱くなると習ったこと等をもとに、自分の考えを説明していました。

本校の目指す学校像「ひとりひとりが輝く楽しい学校」

目指す子ども像「伝え合い 認め合い 高め合い 3つの合い（愛）」